

エ 多様な雇用形態の活用

正規職員が行うべき事務事業を更に見直し、資格や経験が必要な専門的な業務については、再任用職員や嘱託職員、任期付職員を活用し、事務補助業務については、臨時的任用職員や任期付職員を活用します。

オ 民間委託等の推進

民間委託や指定管理者制度の導入、PFI手法の活用などを積極的かつ計画的に推進します。

カ 定年前早期退職者制度の活用

現在、今治市では勸奨退職者制度として、55歳以上で勤続年数25年以上の職員を対象としていますが、平成28年度から45歳以上で勤続年数20年以上の職員を対象として、勸奨退職者制度を拡充し、定員の更なる適正化を図ります。

キ 超過勤務の縮減、健康管理及び職場環境の改善

「ノー残業デー」や「週休日勤務の振替、休日勤務の代休、時間外勤務代休の取得」などを積極的に推進するとともに、健康相談やメンタルヘルス相談などの更なる充実により、職員の健康管理にも配慮し、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント、その他のハラスメントの防止にも積極的に取り組み、職場の環境改善に努めます。

ク 柔軟な応援体制の運用

行政事務の繁忙に応じて部課相互間における臨時的な職員の流動体制を運用することにより、職員の士気高揚と組織の活性化を図り、行政運営の能率向上と円滑化に努めます。

(4) 新規採用計画について

職員の新規採用数については、退職者数により判断することなく、年齢構成の不均衡を是正するため、一般事務職については毎年15名程度を採用し、その他の職種については、設計や施工管理等の委託、施設の統廃合や民営化などを想定し、最少人数の採用に努めます。

新規採用予定者数の推移

(単位：人)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	累計
予定者数	37	31	34	28	29	26	185

(5) 再任用職員の活用について

再任用制度については、新たに導入した雇用制度のため、その活用には今後十分な検証が必要ですが、定年退職した職員の知識や経験は行政の運営にとって貴重な戦力であり、フルタイムや短時間勤務など多様な勤務形態を想定し、活用していきます。

再任用職員（フルタイム）予定者数の推移

(単位：人)

在職年度 退職年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	累計
H25	7							7
H26		15						15
H27			15	15				30
H28				15	15			30
H29					15	15	15	45
H30						15	15	30
H31							15	15
合計	7	15	15	30	30	30	45	172

(6) 定員適正化の数値目標

平成26年4月1日の職員数1,467人を、平成32年4月1日までの6年間で、6.82%減の **100人** の削減を目標とします。

退職手当により一時的には支出額の増加が見込まれますが、100人削減に伴う人件費の効果については、職員の平均給与費（共済費含む）を約750万円と仮定すると、単純計算で、約7億5千万円（退職手当は除く）と算定されます。

定員適正化計画による職員数の推移

(単位：人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	増減率
計 画 数		1,467	1,444	1,417	1,403	1,394	1,371	1,367	-6.82%
対 前 年 度		—	▲ 23	▲ 27	▲ 14	▲ 9	▲ 23	▲ 4	
増 減 累 計		—	▲ 23	▲ 50	▲ 64	▲ 73	▲ 96	▲ 100	
職員数の削減に伴う人件費(万円)	人件費	—	▲17,250	▲20,250	▲10,500	▲ 6,750	▲17,250	▲3,000	
	累 計	—	▲17,250	▲37,500	▲ 48,000	▲54,750	▲72,000	▲75,000	
将来推計人口		166,656	164,776	163,585	162,394	161,203	160,012	158,818	-4.70%
職員1人当たり人口		114	114	115	116	116	117	116	2.27%

* 人数には教育長を含みます。

* 「将来推計人口」とは、国立社会保障・人口問題研究所による「地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」の「封鎖人口を仮定した推計結果」を参考にした推計値です。

今治市定員適正化計画（第3次）

ダイジェスト版

平成27年1月策定

発行・編集

今治市総務部人事課

今治市別宮町1-4-1

TEL 0898-32-5200（代表）

FAX 0898-32-5211

Mail jinji@imabari-city.jp